

経営比較分析表（令和4年度決算）

香川県綾川町 綾川町国民健康保険陶病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	対象	透訓	臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
23,368	6,157	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

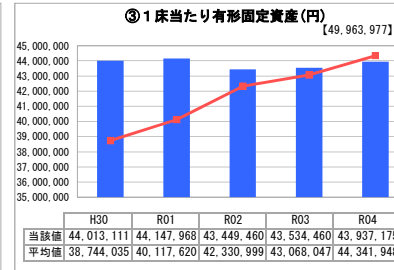
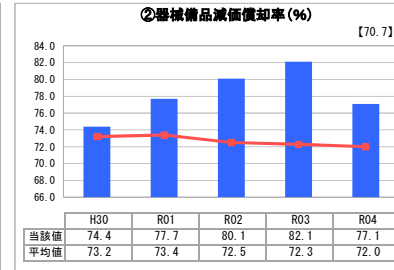
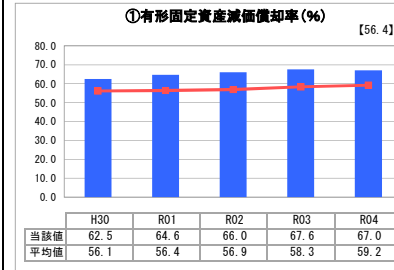
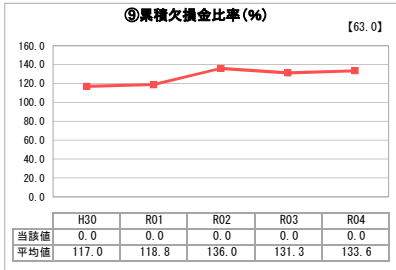
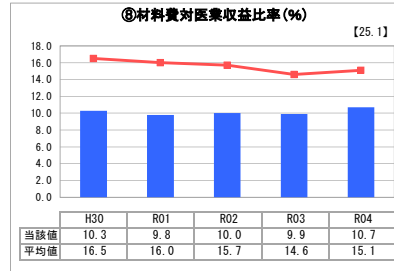
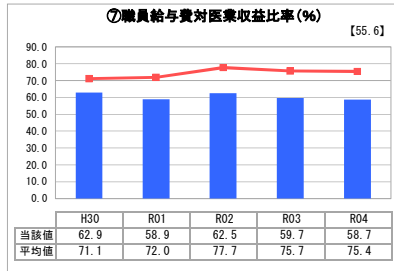
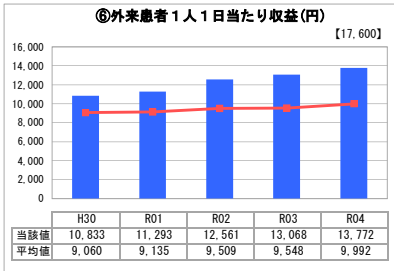
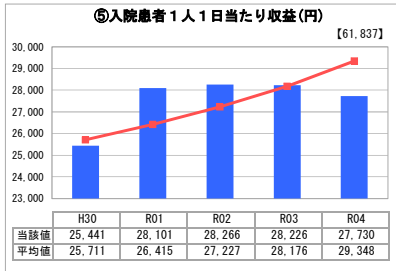
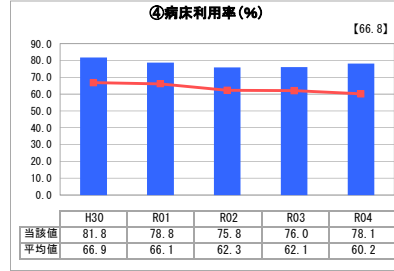
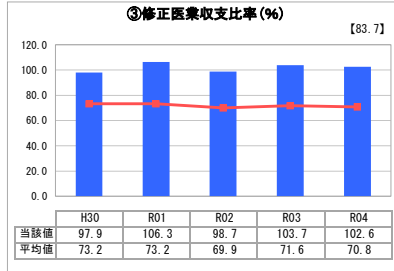
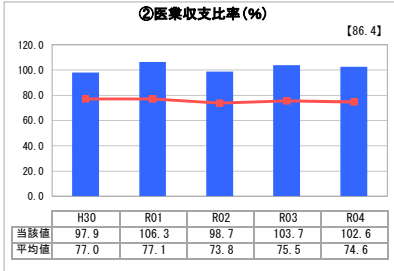
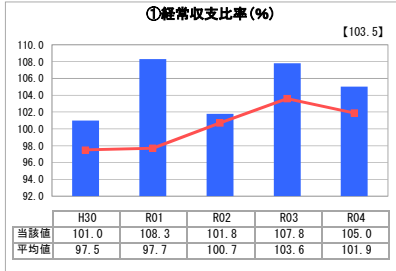
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
35	28	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	63
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
34	25	59

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワークをきむ)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割
 主軸とする回復期から在宅医療、介護まで、患者の状況に応じた療養環境で適切な医療が受けられるように、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携強化を図りながら、多職種・多機関による「顔の見えるネットワークづくり」に努め、地域連携拠点病院として「安心・安全のまちづくり」に貢献している。また、地域での保健事業へも各分野の職員を積極的に派遣している。また、公立病院の役割として子育て世代に対する小児外来の設置、感染症対策への対応として発熱外来の設置、積極的な診察の受け入れもしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

近年、経常収支比率は100%を超え黒字経営ができています。令和元年度及び2年度に一般病床を地域包括ケア病棟に一部転換し、経営面においても合理化を行ってきた。また、多方面で諸経費コストの上昇が続く中、各部門においては経費の削減努力を行っている。医師確保については毎年苦慮しており、香川医大、県立病院等に派遣をしていただいている状況である。附帯事業では訪問看護、通所リハ事業等の利用要望が増えているため、今後も病院と一体となった在宅サービス提供等に力を入れ、ニーズに合った地域サービスの提供に努めたい。

2. 老朽化の状況について

平成16年に改築され経年劣化が進んでいる状況である。有形固定資産減価却率が67.0%となり、類似病院との比較において比率が上回っている。施設は重大な問題がなく稼働しているものの、設備故障のため各種修繕費が増加してきている。器機類の更新が必要となってきたため、計画的に適切な更新を行っているところである。施設設備についても施設長寿命化計画により改修を行う予定である。一床当たりの有形固定資産については、地域医療の拠点としてCT、MRIなどの検査機器を保有しており、今後も機器レベルを落とさず更新を行っていく予定である。

全体総括

近年は経常収支が黒字となっているが、減価償却が終了する設備・器機が増え、更新についての計画性が求められる。また「綾川町国民健康保険陶病院経営強化プラン」に基づき、香川県における地域医療構想調整会議において求められている医療機関の機能分化・連携に寄与するため、現在の病院経営形態を維持するとともに、定期的な経営状況の点検が必要とされる。今後も公立病院の役割を担い、高齢化が進む社会の中で住民の求める医療を適切に提供していく体制を整え、健康で安心して暮らせる町づくりに貢献していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。